

輸出事業計画

※（有）小柳農園、品目：コメ、コメ加工品

1. 輸出における現状と課題

現状

中野市は高社山（高井富士）のふもとに位置し冷涼な気候と昼夜の寒暖差が大きいことから高品質なコメの生産が可能な地域である。中野市の水田面積は596ha、耕作面積451 haで生産量は2,500 tと県内の他産地と比べても栽培規模は小さい産地である。

課題

○生産

産地の生産力を維持するため、他産地との差別化を図り将来にわたり持続的にコメの生産が可能な新たな生産方式による産地づくりが必要。

○流通・販売

- ・商品 P R のために参加する海外の販売促進活動（プロモーション）が必要。
- ・商談の際に海外バイヤー向けに商品を P R するツールが不足している。

2. 輸出事業計画の取組内容

取組

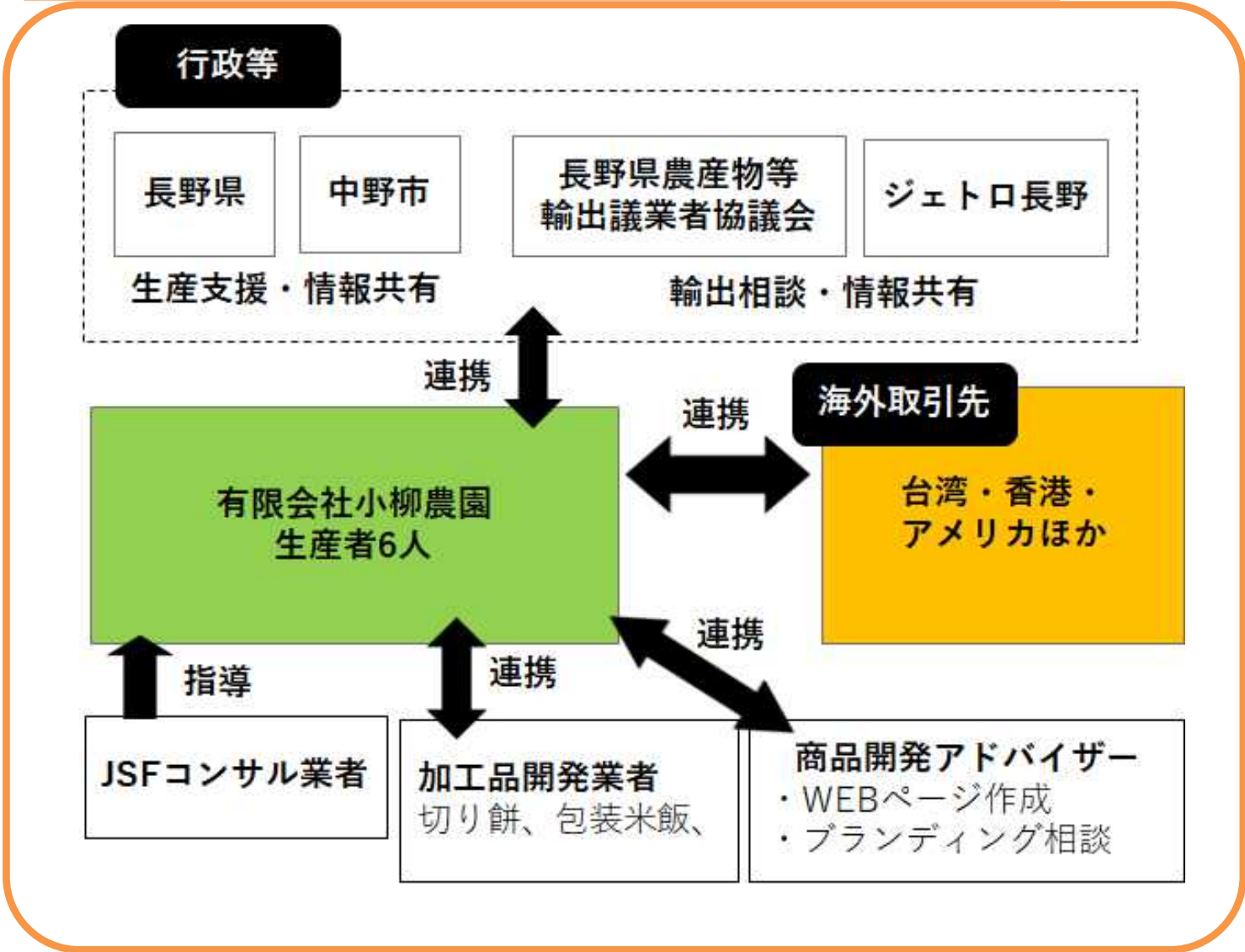
○生産

- ・産地の特徴を活かし、また、SDG s を意識した「地域循環型農業」を実践に向けた栽培試験及びマニュアルの作成。
- ・農業生産工程を管理するための G A P 認証の取得。
- ・JFS-C の認証取得に必要な精米施設を整備。

○流通・販売

- ・より効果的な販売促進活動とするため、ブランド化する **コメ** を使用した魅力ある商品アイテムの開発。
- ・輸出関連見本市や商談会で活用可能な海外実需者向けの自社 Web ページの作成や商品パンフレット(デジタル)等 P R ツールの作成と海外への積極的な情報発信。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	現状 (令和2年)	目標年 (令和7年)
輸出額 (円)	1,267,000	10,000,000
輸出量 (t)	3.1	24.67
輸出先国	香港、台湾、アメリカ	香港、台湾、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、アメリカ、フランス